Cymbidium dayanum



ヘツカラン(愛知県栽培品 09.10/23)

鹿児島県の大隅半島の一部に自生する大型の半着生蘭です。シュンランやカンランと同じシンピジュウム属ですが、大樹の木の又や太い枝の苔の中に根を下ろし花茎を房状に垂らして咲く姿が独特な蘭です。

自生地では10~11月にかけて樹上から垂れ下がるように 幾条もの花茎を伸ばし開花します。白地に小豆色の中心線 の入ったシャープな花で大変観賞価値が高く、次々に開花し て行くことから1ヶ月以上花を楽しむことが出来ます。

ただ、元々自生地が極めて限られており、かつ開発、乱獲の犠牲にもなっており、絶滅危惧1A類(最高ランク)に指定されているほど貴重な蘭です。現在では一部保護区の森の中で大樹のはるか高くに点在する程度の自生しか見られないそうです。

ただ地元自治体や専門機関が積極的に保護増殖活動に取り組み始めていることから、なんとか自生地の回復及び復元に期待したいと思います。



鹿児島県の限られた一部に自生します。

常緑で見た目は花屋さんで売られている原種に近いシンピ ジュウムと全く変わりません。

本格的な商用生産は行われておりませんが、趣味家の方や洋蘭栽培業者さんが洋蘭と全く同じ技法の無菌培養で僅かに実生増殖されているため、希に市場に出回りますので入手は不可能ではありません。しかし悲しいことに、これだけ自生地が危機的な状況にありながら未だに盗掘株も出回っています。

栽培は洋蘭のシンピジュウムと全く同様です。冬期の管理は霜が降りない地域であれば屋外管理も可能ですが、本州中部までなら屋内若しくは無加温フレームで、寒い地方でしたら温室で越冬させてください。半着生種で花が垂れ下がる為、ハンキングや高さのある蘭鉢での栽培が必要です。

増殖も比較的容易で株分け、バルブ吹かし、人口受粉での結実による無菌培養などで増やすことが出来ます。



ヘツカランの花(愛知県栽培品09.10.21)



ヘツカランの花(愛知県栽培品09.10.21)

ヘツカランの花(愛知県栽培品09.11.10)



ヘツカランの草姿(愛知県栽培品09.10.21)

ヘツカランの種子(愛知県栽培品09.12.28)